2016年８月16日

各　　位

会 社 名　　株式会社 東京一番フーズ
代表者名　　代表取締役社長　　坂本　大地
（コード番号：3067　東証第一部）
問合せ先　　取締役副社長　　井野　一三美
（TEL：03-5363-2132）

魚網用銅合金線「UR30ST」を使用した生簀の実証実験への参画のお知らせ

当社は、三菱伸銅株式会社の魚網用銅合金線「UR30ST」の優位性をブリで検証するための実証実験に参画することとなりましたのでお知らせいたします。この実証実験に使用する生簀は、三菱伸銅株式会社の魚網用銅合金線「UR30ST」を使用してチリの国営銅公社 Corporación Nacional del Cobre de Chile（コデルコ社）傘下の EcoSea Farming S.A.（**以下「EcoSea 社」**）が開発した最新鋭の沈降式であり、実証実験は、近畿大学 世界経済研究所 水産・食料戦略分野教授の有路昌彦博士の全面指導のもと、当社子会社の株式会社長崎ファームが実施いたします。

EcoSea **社**は、世界的潮流にある沖合養殖用に沈降型生簀の実績を有しており、日本をはじめ世界においても同生簀の事業化を目指しております。沖合養殖は、慢性化している養殖魚の供給不足を補い得る次世代の養殖方法として世界的に注目されていますが、潮流による網の変形、藻類の付着に伴う定期的な洗浄、捕食動物対策など、依然として多くの問題を抱えております。「UR30ST」はこれらを解決し、養殖魚の健康維持、成長促進、餌代節約につながる素材と言われております。

当社グループは、長崎県平戸市の養殖場で、とらふぐ、本マグロ、ブリ等を養殖しており、東京の塩浜に活魚センター・加工場をもち、外食部門としてとらふぐ亭業態と鮮魚業態を展開しております。自社養殖生産力を強化して水産物六次産業化を推進する総合水産企業としての展開を加速している中、当実証実験に参画していくことは、当社グループの養殖技術の蓄積に寄与するものと判断しております。

以　上

